

学校 教育 目標	<p>「心ゆたかに、ともに学ぶ子」</p> <p>○人の話を聞き「なぜ、どうして」を感じながら進んで学び続ける子どもを育てます。(知) ○「おはよう」「ありがとう」の言葉を大切に子どもを育てます。(徳) ○心と体をきたえ、明るく元気に活動する子どもを育てます。(体) ○地域の人やものを大切に、正しい判断をする子どもを育てます。(公) ○ふれあいを大切に自分のまわりの「すごい」に目を向ける子どもを育てます。(開)</p>						
	学校 概要	創立 80 周年	学校長 蒲谷 猛	副校長 清水 浩一	2 学期制	一般学級: 29	個別支援学級: 8
児童生徒数:		919 人	主な関係校: 原中学校 三ツ境小学校				

<p>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</p>	<p>原中 ブロック</p>	<p>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</p>
<p>○「自分をつくる力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ ・社会とつながる ・ともに未来をつくる 	<p>原中学校 原小学校 三ツ境小学校</p>	<p>○自分も他者も大切にできる人 ○自分らしさを見つけ、発揮できる人 ○人や社会との関わりを大切にできる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「児童生徒指導スタンダード」を共有した、児童生徒指導連携と9年間で子どもを育てる職員意識の醸成 ・原中ブロックイメージシートの継続検討、「主体的な学び」「主体的に学ぶ態度の育成」の評価」についての共同研究による、指導・評価の共有・拡充 ・小中交流事業の充実、ブロック校長会・ブロック教務主任会・ブロック専任会等3校連携の促進

中期 取組 目標	<p>○子どもの学ぶ意欲、自己肯定感、成就感、所属感を高めながら、「明日も来たくなる学校」にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを「惹き込む」授業づくりを推進して、前のめりな姿を引き出し、達成感と自信を高めながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自尊感情を高め、それぞれの良さを発揮し認め合いながら学校生活を楽しめるようにします。 ・学校内外ですすんで人と豊かにかかわりながら、所属感、協働性、貢献の意識を高めます。 ・規範意識と適正な状況把握力・判断力を育てるとともに、「協働」「共生」の意識を高めて学校生活の安全・安心を高めます。
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	<p>ともに進める 授業改善</p>	<p>①教科一部分担制・複数担任制等の運用による、学級を超え、学年児童を協働で育てる意識の一層の向上 ②「子どもの『こうしたい』をつなげる授業」をキーワードとした、自ら問いをもち、追究し続ける子どもの育成、本校「主体的な学び」スタイルの立案・試行・検証 ③一人一授業以上公開による、授業を開き、授業を見合う職場空気のさらなる醸成 ④「指導協働化研」・ブロック協働の機能化による「指導・評価の共有」と、あしあとカリ・共有教材集積の仕組みづくり ⑤主体的・協働的な学びのツールとしてのタブレット活用、積極的なDX推進 ⑥協働的な学びを促進する、学習活動・学習隊形・学習集団の多様化と教室環境づくり</p>
担当	<p>研究推進カリマネ部会 学習評価学校評価部会 ICT推進情報発信部会 学年研究会 指導協働化研究会</p>	
徳	<p>学び生かす 人権・特別支援</p>	<p>①個の支援ニーズに対応する学びの場の拡充と、学級内での支援活性化のための意識醸成と体制整備 ②「多様性」を認め合い「他者意識」を涵養する、障理解教育・人権教育・国際理解教育の推進 ③特支Co・個別支援級主任・部会長との分担・連携による特別支援教育・障理解教育・人権教育の推進 ④「傾聴」「受容」と「指導の工夫」ですすめる特別支援教育・人権教育の充実 ⑤コンサルテーション等、積極的な他機関連携による、早期スクリーニング・支援方法の共有・職員研修の充実</p>
担当	<p>特別支援人権教育部会</p>	
	<p>協働する 児童指導</p>	<p>①情報共有・チーム対応・指導実践共有を促進するブロック協働体制の増強 ②子どものかかわり合いを見守る積極的な保護者連携促進 ③不登校傾向、自傷、希死念慮等、非社会的傾向児童へのきめ細やかな対応の拡充 ④専任・管理職関与等、段階的な対応体制の整備と、適時的確な振り分けの実施 ⑤潜在的カリキュラムの統一感も醸成する、指導の協働性強化、児童指導・保護者対応に関する研修・情報発信 ⑥保護者向け情報発信・啓蒙の具体的な取組立案・実施</p>
担当	<p>児童指導部会 運営会議</p>	
公開	<p>深める 学校地域連携 小中連携</p>	<p>①地域の「ひと・こと・もの」とより豊かにかかわる教材・単元の開発(特に、生活総合、社会) ②「9年間で育てる」意識共有を基盤とした、小中連携の拡充 ③交通安全推進校の取組のブロック共有・協働と、保護者・地域との連携による見守り改善策の具体化 ④地域学校協働本部の活動の一層の充実と、学校運営協議会の機能充実による3地域連携強化 ⑤80周年を契機とした、地域組織・諸施設等とのつながりの深化、顔の見える関係づくりの促進</p>
担当	<p>主幹会議 防災安全校外部会 (研究推進カリマネ部会)</p>	
	<p>細やかな いじめ対応</p>	<p>①「傾聴」による児童の声の聴取と細やかな「変化」の観察(継続)、児童の「かかわり方」への積極的で日常的な働きかけ(アフターコロナの段階的指導) ②いじめ認知報告書への徹底した早期リストアップ、継続的な指導と見守り ③全教育活動における、いじめ予防的指導としての多様性・人権意識の陶冶</p>
担当	<p>児童指導部会 運営会議</p>	
	<p>たゆまぬ 研鑽と改善 (働き方改革)</p>	<p>①各組織・枠組み等を活用した、「学び高まる職員集団」としての意識共有と積極的研鑽 ②水曜午前時程を活用した市研参加勧奨、校外研究会、研修会、研究発表等への参加勧奨と成果の共有促進(「外で学び、内で広める」) ③市内外での優れた実践校への積極的な視察実施 ④「学年研」「協働化研」「ブロック研」を活用した、協働での授業づくり、教材づくり、成果共有(働) ⑤保護者による教材QRコード決済の導入等、完全前納制の定着促進(働) ⑥原案・提案の精度を上げる、リーダー層の見通しと業務分配、職員の前倒し意識の醸成、在校等状況の改善(働)</p>
担当	<p>主幹会議 衛生委員会 研修推進</p>	
体	<p>楽しく取り組む 体力向上</p>	<p>①原オりの内容・実施方法の工夫・拡充 ②中休みでの「いきいきキッズ」の実施(感染状況の状況改善した場合) ③冬期の運動促進(なわとび週間等) ④歯磨き習慣の定着に向けた継続的な働きかけ</p>
担当	<p>研究研修部(体育部)</p>	